

No. 3 遊びと学びが、人をつなぐ



和歌山のお手玉の会・ななこの会

和歌山市  
市民公益活動  
サポート講座

知らなかった！

## スマホで使えるツール体験会

参加  
無料

デジタルで、団体メンバー間の情報共有が便利になる！

日時

2023年  
1月21日(土)  
13:30~15:30

申込

入力フォームから  
申込みください



<https://logoform.jp/form/fkMM/167107>

場所

和歌山市地域フロンティアセンター

講師

和歌山大学 戦略情報室 室長  
満田 成紀 氏

持ち物

スマートフォン



もしくは

お名前(ご所属)、お電話番号を下記まで

和歌山市自治振興課市民協働推進班

TEL : 073-435-1011

メール : [jichi@city.wakayama.lg.jp](mailto:jichi@city.wakayama.lg.jp)

市民公益活動情報誌

Frontier's ~フロンティアズ~

発行日 2022年12月9日

発行 和歌山市地域フロンティアセンター

お問い合わせ

所在地 本町2丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL 073-402-1213 FAX 073-402-1214

Email [jichi@city.wakayama.lg.jp](mailto:jichi@city.wakayama.lg.jp)

開館時間 9:00~21:00(祝日、振替休日、年末年始除く)



地域の最前線【Frontier(フロンティア)】で活動する団体をご紹介します。

## 社会 教育



和歌山のお手玉の会・  
ななこの会  
団体設立日  
2005年12月1日  
代表 森 勝代  
073-452-8627

## お手玉遊びから、世代を超えた学びあいが生まれる

### お手玉は、落としていい

お手玉に、「高齢者が懐かしむ昔遊び」「難しい技ができる人がすごい」というイメージはありませんか？お手玉遊びは、決められた段階を踏んで上達しなければならないというのではなく、自分が主人公になって楽しめる遊びです。

自分がやりたい技を練習して上手くできるようになる喜びはもちろん、小さな子どもはお手玉を握るだけでもその手触りを楽しめます。一人遊びでも、その場にいる人でルールを決めて遊ぶこともできます。例えば、お手玉を離れたところからかごに入れるゲームをしたり、音楽に合わせてリズムをとったり、とてもクリエイティブ(創造的)です。技以外にも、お手玉の演舞を見る楽しみ、お手玉を制作する楽しみ、収集する楽しみと無限大の楽しみ方があります。

### 学びあい、認めあい続けられる

お手玉には奥の深さがあるので、お手玉の遊び方を共有する中でつながりが生まれます。思いもしなかったお手玉の遊び方を聞いて、試すことで気づきが生れます。その場に居合わせた人みんなが楽しめる遊びは何だろう？と考えることが人を知ることに繋がります。

お手玉をどのように楽しむかは本人の自由であり、他者から否定されるものではありません。そんな経験ができる場をつくる社会貢献を、「和歌山のお手玉の会・ななこの会」は継続しています。代表の森さんは、人から学ぶという謙虚さ、前向きにやってみるという姿勢を大切にしていると話していました。



### 活動を持続させる秘訣

団体が立ち上がって今年で17年になります。森さんは、継続的に団体を運営するために、例えば、探査機「はやぶさ」が小惑星に目印を落とす方法に、落としても跳ねないお手玉がヒントになったことなどの話題提供をメンバーに欠かさず行うことで、ワンパターンになったりマンネリ化したりしないように心がけてきたそうです。テレビや雑誌などでお手玉の歴史や文化の情報収集をし、お手玉の奥の深さを学ぶことで常に新鮮な気持ちでお手玉遊びができるそうです。



### 子どもたちや学生に還元

代表の森さんは、和歌山大学教育学部の講義「保育内容(音楽・身体総合表現)」で、学生にお手玉遊びを紹介しています。お手玉遊びの伝承に地域で取り組む森さんからの教えは、学生さんにとっても貴重な学びの機会となっています。学生さんや、お手玉を遊びに来てくれる子どもたちの成長から学ぶことも多いと森さんは話してくれました。

### 私もできる！ボランティア

定期的にイベントを開催していますので、体験してみたいかがでしょうか。

- ▶お手玉遊び教室 第1土曜日 14:00~15:30 県立図書館
- ▶お手玉交流会 第3月曜日 10:00~12:00 河北コミセン